



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5210 URL <https://www.yamamura.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山村 幸治  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 金原 正晃 TEL 06-4300-6000  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月6日  
決算補足説明資料作成の有無: 無  
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	37,751	2.5	2,405	△24.9	2,718	△50.0	2,100	△78.5
2024年3月期中間期	36,840	7.5	3,205	855.2	5,436	—	9,756	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 3,971百万円 (△67.0%) 2024年3月期中間期 12,024百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	205.66	—
2024年3月期中間期	955.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	92,775	55,054	59.2
2024年3月期	94,144	51,593	54.6

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 54,891百万円 2024年3月期 51,429百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2025年3月期	—	30.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

配当予想の修正については、本日（2024年11月14日）公表いたしました「2025年3月期 剰余金の配当（中間配当・増配）の決定および期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	1.5	2,900	△34.9	3,100	△48.8	2,300	△81.2	225.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 有  
除外 1社 (社名) 台湾山村光學股份有限公司

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2025年3月期中間期	11,145,249株	2024年3月期	11,145,249株
2025年3月期中間期	934,582株	2024年3月期	934,022株
2025年3月期中間期	10,211,103株	2024年3月期中間期	10,211,710株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善等により景気は緩やかに回復しました。一方で、物価上昇や欧米における高い金利水準の継続等、下振れ懸念があり依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような中、山村グループでは3ヵ年の中期経営計画の2年目を迎えました。これからも様々な課題に長期的に挑戦していく事業基盤が肝要であるとの思いをこめて中期経営計画は「成長に向けた事業基盤の整備」をテーマとし、「財務基盤の整備」「既存事業を強化する仕組みづくり」「新しい事業を構築する準備」「循環型社会の実現に向けた開発」「従業員が誇りを持って働き続けたいと思える会社づくり」という5つの経営方針を推進し、グループ一体となって業績向上に取り組んでおります。

事業セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

#### ① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、国内ガラスびん業界の出荷量は前年同中間期比92.8%となり、当社の出荷量も減少しましたが、タイの子会社の売上増加等により、セグメント売上高は24,330百万円(前年同中間期比1.0%増)と増収となりました。セグメント利益は、当社における出荷量・生産量の減少、燃料・動力価格の高騰および物流費・労務費等の増加により、1,614百万円(前年同中間期比38.7%減)と減益となりました。

#### ② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、国内における飲料用キャップの出荷の増加や中国の子会社の販売が好調なことに加え、当社における前期の価格改定による飲料用キャップの販売単価の上昇等により、セグメント売上高は4,506百万円(前年同中間期比13.5%増)と増収となりました。セグメント利益は、原料費や物流の2024年問題による運搬費等の増加がありましたが、出荷量増加に伴い生産量が増加したことや販売単価の上昇等により、445百万円(前年同中間期比43.0%増)と増益となりました。

#### ③ 物流関連事業

物流関連事業では、新規営業所開設等による取扱い物量の増加があり、セグメント売上高は7,323百万円(前年同中間期比0.1%増)と増収となりました。セグメント利益は、作業生産性の向上等による損益改善により、384百万円(前年同中間期比23.8%増)と増益となりました。

#### ④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、当社における電子部品用ガラスの出荷が堅調に推移し、セグメント売上高は1,490百万円(前年同中間期比6.4%増)と増収となりました。セグメント利益は、コスト削減等の損益改善により、71百万円(前年同中間期は△77百万円の損失)と黒字となりました。

その他事業では植物事業を含み、セグメント売上高は100百万円(前年同中間期比44.2%増)、セグメント利益は△36百万円の損失(前年同中間期は△43百万円の損失)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の連結売上高は37,751百万円(前年同中間期比2.5%増)と増収となりましたが、連結営業利益は2,405百万円(前年同中間期比24.9%減)と減益となりました。前年同中間期は米国の関連会社からの貸付金が全額返済されたこと等により、持分法による投資利益1,665百万円を計上しましたが、当中間期はそのような特殊要因がなく、持分法による投資利益は285百万円(前年同中間期比82.8%減)となり、連結経常利益は2,718百万円(前年同中間期比50.0%減)と減益となりました。さらに前年同中間期に計上した固定資産売却益や持分変動利益の反動により特別利益が減少し、親会社株主に帰属する中間純利益は2,100百万円(前年同中間期比78.5%減)と減益となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,369百万円減少し、92,775百万円となりました。これは、為替換算調整勘定の影響等により関係会社株式が1,893百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,175百万円増加したものの、現金及び預金が4,122百万円減少したこと等が主な要因です。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,831百万円減少し、37,720百万円となりました。これは、設備未払金の支払が進んだこと等によりその他流動負債が2,131百万円、有利子負債が1,949百万円減少したこと等が主な要因です。

純資産については、前連結会計年度末に比べ3,461百万円増加し、55,054百万円となりました。これは、利益剰余金が1,589百万円、為替換算調整勘定が1,875百万円増加したこと等が主な要因です。自己資本比率は4.6ポイント上昇して59.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間におきまして、2024年5月15日に公表しました業績予想との間に差異が生じました。また、2025年3月期における通期の業績予想につきましては、当中間期までの状況およびその後の経営環境等を勘案して、2024年5月15日公表の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2024年11月14日)公表の「2025年3月期第2四半期(中間期)業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,990	6,867
受取手形、売掛金及び契約資産	20,787	21,963
商品及び製品	6,954	6,874
仕掛品	266	297
原材料及び貯蔵品	1,608	1,712
その他	1,105	850
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	41,709	38,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,673	5,471
機械装置及び運搬具(純額)	8,870	7,992
工具、器具及び備品(純額)	1,024	1,015
土地	10,415	10,415
建設仮勘定	143	1,242
有形固定資産合計	26,126	26,137
無形固定資産		
その他	185	258
無形固定資産合計	185	258
投資その他の資産		
投資有価証券	2,685	2,773
関係会社株式	20,698	22,591
退職給付に係る資産	913	874
繰延税金資産	421	154
その他	1,675	1,694
貸倒引当金	△270	△271
投資その他の資産合計	26,123	27,816
固定資産合計	52,435	54,212
資産合計	94,144	92,775

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,281	7,649
短期借入金	5,659	5,101
未払法人税等	708	524
賞与引当金	867	824
役員賞与引当金	44	29
その他	6,275	4,159
流動負債合計	21,836	18,289
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	15,725	14,527
リース債務	485	522
退職給付に係る負債	2,703	2,692
繰延税金負債	11	75
その他	787	612
固定負債合計	20,714	19,430
負債合計	42,551	37,720
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	16,625	16,625
利益剰余金	20,549	22,138
自己株式	△1,566	△1,567
株主資本合計	49,683	51,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	960	1,053
繰延ヘッジ損益	76	10
為替換算調整勘定	844	2,719
退職給付に係る調整累計額	△134	△164
その他の包括利益累計額合計	1,746	3,619
非支配株主持分	163	163
純資産合計	51,593	55,054
負債純資産合計	94,144	92,775

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	36,840	37,751
売上原価	28,627	29,940
売上総利益	8,213	7,811
販売費及び一般管理費	5,008	5,405
営業利益	3,205	2,405
営業外収益		
受取利息	17	9
受取配当金	495	44
持分法による投資利益	1,665	285
その他	301	188
営業外収益合計	2,478	527
営業外費用		
支払利息	121	103
租税公課	47	42
その他	79	68
営業外費用合計	247	215
経常利益	5,436	2,718
特別利益		
固定資産売却益	5,584	2
投資有価証券売却益	—	128
関係会社清算益	—	57
持分変動利益	664	—
受取補償金	79	—
特別利益合計	6,328	188
特別損失		
固定資産売却損	3	—
固定資産廃棄損	3	36
事業構造改善費用	103	—
特別損失合計	110	36
税金等調整前中間純利益	11,654	2,869
法人税、住民税及び事業税	325	401
法人税等調整額	1,555	349
法人税等合計	1,880	750
中間純利益	9,773	2,118
非支配株主に帰属する中間純利益	17	18
親会社株主に帰属する中間純利益	9,756	2,100



(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	9,773	2,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	281	93
繰延ヘッジ損益	139	△65
為替換算調整勘定	74	135
退職給付に係る調整額	△1	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	1,756	1,720
その他の包括利益合計	2,250	1,852
中間包括利益	12,024	3,971
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	12,003	3,973
非支配株主に係る中間包括利益	21	△2

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	11,654	2,869
減価償却費	1,715	1,837
持分法による投資損益(△は益)	△1,665	△285
持分変動損益(△は益)	△664	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△5,581	△2
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△128
関係会社清算損益(△は益)	—	△57
売上債権の増減額(△は増加)	△3,444	△1,038
仕入債務の増減額(△は減少)	78	△614
棚卸資産の増減額(△は増加)	△580	△20
その他	125	△120
小計	1,638	2,439
利息及び配当金の受取額	623	167
利息の支払額	△130	△105
法人税等の支払額	△463	△683
法人税等の還付額	138	186
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,807	2,005
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	39	106
有形固定資産の取得による支出	△1,371	△3,462
有形固定資産の売却による収入	6,275	3
投資有価証券の売却による収入	1	176
関係会社株式の取得による支出	—	△93
関係会社出資金の払込による支出	—	△96
貸付けによる支出	△209	△14
貸付金の回収による収入	2,129	144
その他	△346	△198
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,517	△3,433
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△800	200
長期借入れによる収入	—	537
長期借入金の返済による支出	△2,521	△2,492
配当金の支払額	△1	△507
その他	△403	△428
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,726	△2,692
現金及び現金同等物に係る換算差額	80	97
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,679	△4,023
現金及び現金同等物の期首残高	7,464	10,891
現金及び現金同等物の中間期末残高	12,143	6,867

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ガラス 関連事 業	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	24,082	3,969	6,764	1,401	36,218	69	36,288	—	36,288
その他の収益	—	—	552	—	552	—	552	—	552
外部顧客への売上高	24,082	3,969	7,317	1,401	36,771	69	36,840	—	36,840
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	228	4,124	5	4,358	0	4,358	△4,358	—
計	24,082	4,198	11,441	1,406	41,129	69	41,199	△4,358	36,840
セグメント利益又は損 失(△)	2,634	311	310	△77	3,179	△43	3,135	69	3,205

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、植物事業を含んでおりま  
す。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額69百万円には、セグメント間取引消去等49百万円、その他の調  
整19百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメ  
ントに計上されている営業外損益調整等です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ガラス 関連事 業	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	24,330	4,506	6,947	1,490	37,275	100	37,375	—	37,375
その他の収益	—	—	376	—	376	—	376	—	376
外部顧客への売上高	24,330	4,506	7,323	1,490	37,651	100	37,751	—	37,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	200	4,248	4	4,473	0	4,473	△4,473	—
計	24,351	4,706	11,572	1,495	42,125	100	42,225	△4,473	37,751
セグメント利益又は損 失(△)	1,614	445	384	71	2,517	△36	2,480	△74	2,405

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、植物事業を含んでおりま  
す。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△74百万円には、セグメント間取引消去等79百万円、その他の  
調整△153百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告  
セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。